

【研究シーズテーマ】

ウェアラブルセンサを活用した モニタリングシステム

 生命学部 生体医工学科 准教授 **楨 弘倫**


複合領域

Keyword
ウェアラブルセンサ／生体情報／見守り


【研究シーズの概要】

高齢者に装着した3軸加速器センサで測定した加速度から、心拍数、呼吸数、体動量及び身体傾斜角度等を検出し省電力無線モジュールを介してホストコンピュータに自動送信することで、高齢者の家族、介護者及び医師は遠隔モニタリングが可能となります。

例えば、ベッドからの起床時における転倒予防のため、体が起き上がるとスタッフが持つ端末へ知らせることが可能です。巡回が減る夜間などにベッドから立ち上がる時の転倒を防ぐため、スタッフへ注意を促す情報が提供できます。



【新規性・独自性・従来研究(技術)と比べての優位性】

- さまざまな生体情報のモニタリングが可能です。
- 建物等への工事がいらず素早い導入が可能です。

【産業界での展開・用途】

- 一人暮らしの高齢者や介護福祉施設の入所者の健康管理
- 病院施設や介護福祉施設での転倒予防

連絡・問合せ先

 広島工業大学 研究支援機構 〒731-5193 広島市佐伯区三宅2-1-1
 (事務窓口: 研究・地域連携支援部) TEL:082-921-4222 FAX:082-921-8963
 URL <https://www.it-hiroshima.ac.jp/for-research/office/> E-mail kyo-kiko@it-hiroshima.ac.jp